



企画展 行こう！おおさかの魅力 あふれる生物多様性ホットスポット

おおさか ふる おお ひとびと せいかつ だいとし いっぽう
大阪は、古くから多くの人々が生活する大都市である一方で、
たよう いきもの せいそく さまざま かんきょう ゆう
多様な生物が生息する様々な環境を有しています。

おおさか せいぶつたようせい
大阪の生物多様性ホットスポットは、
にほんこゆうしゅ ふく きしょう やせいどうしょくぶつ せいそく せいいく
「日本固有種を含め、希少な野生動植物が生息・生育し、
しゅ たようせい たか ちいき
種の多様性が高い地域」

せんてい ちいき ふない しょ そんざい
として選定された地域のごとで、府内に55か所存在します。
おおさかふ
(大阪府レッドリスト2014より)

こんかい きかくてん
今回の企画展では、
おおさか せいぶつたようせい
大阪の生物多様性ホットスポットをテーマに、
どぜんてんきゅう さつえい しゃしん
360度全天球カメラで撮影した写真を
せかい たいけん しか
VRの世界で体験することができる仕掛けや、
さまざま いきもの せいたいてんじ
様々な生物の生体展示、

じっし ちょうさけんきゅう しょうかいどう とお
センターで実施する調査研究の紹介等を通して、
たよう せいたいけい ゆう おおさか みりよく しょうかい
多様な生態系を有する大阪の魅力をご紹介します。



大阪府生物多様性ホットスポット

Aランク

たよう せいぶつしゅぐん ぜつめつきぐ
多様な生物種群の絶滅危惧
 しゅ せいぶつきばん
種にとっての生存基盤となっ
 じゅうよう せいそくち
ている重要な生息地

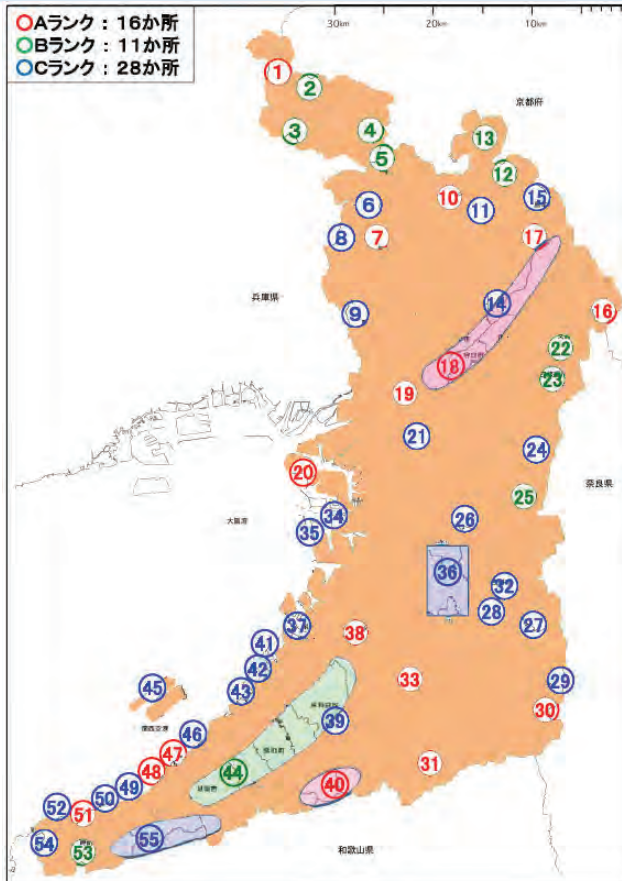
Bランク

じゅん せいそくち
Aランクに準ずる生息地

Cランク

いちぶ ぜつめつきぐしゅ かぎ
一部の絶滅危惧種に限られ
 せいぞんきばん
るが、その生存基盤となっ
 せいそくち
ている生息地

おおさかふ
 「大阪府レッドリスト」2014より



1	能勢町天王・上山辺	能勢町
2	剣尾山	能勢町
3	三草山	能勢町
4	地黄湿地	能勢町
5	妙見山・初谷	豊能町・能勢町
6	北摂の鉾山跡	能勢町・豊能町・池田市・箕面市
7	箕面公園	箕面市
8	余野川中流部	池田市・箕面市
9	伊丹空港周辺	豊中市
10	竜王山周辺・安威川上流部	茨木市
11	摂津峡	高槻市
12	ボンボン山・本山寺	高槻市・島本町
13	旧榎田	高槻市
14	高槻市南部の水田群	高槻市
15	若山神社・尺代	島本町
16	穂谷・尊延寺	枚方市
17	淀川鶴殿	高槻市
18	淀川ワンド群	大阪市・守口市・寝屋川市・枚方市・高槻市
19	淀川汽水域	大阪市
20	南港野鳥園・夢洲	大阪市
21	上町台地	大阪市
22	星田・交野	交野市
23	室池	四条畷市
24	牧岡公園	東大阪市
25	八尾ため池群	八尾市・東大阪市
26	大和川堤防	大阪市・八尾市・松原市・藤井寺市
27	太子町・河南町の棚田群	太子町・河南町
28	美具久留御魂神社	富田林市

29	大和葛城山	千早赤阪村・河南町
30	金剛山	千早赤阪村
31	天見、岩湧山、滝畑、榎尾山	河内長野市・和泉市
32	石川周辺	南河内地域
33	鉢ヶ峯寺、豊田、別所、金剛寺	堺市・河内長野市
34	堺2区埋立地	堺市
35	堺7-3区埋立地	堺市
36	堺東部ため池群	堺市・松原市・羽曳野市・大阪狭山市
37	大津川河口	泉大津市・忠岡町
38	信太山丘陵	和泉市
39	意賀美神社・神於山	岸和田市
40	和泉葛城山	岸和田市・貝塚市・泉佐野市
41	阪南2区埋立地	岸和田市
42	近木川河口	貝塚市
43	二色の浜	貝塚市
44	泉州ため池群	和泉市・岸和田市・貝塚市・熊取町・泉佐野市・泉南市
45	関空二期島周辺	泉佐野市・田尻町・泉南市
46	榎井川河口	泉南市
47	男里川河口	泉南市・阪南市
48	泉南地域の砂浜	阪南市・岬町
49	茶屋川河口	阪南市
50	せんなん里海公園	阪南市・岬町
51	長松・小島海岸	岬町
52	東川河口	岬町
53	孝子	岬町
54	多奈川	岬町
55	紀泉高原	泉南市・阪南市・岬町

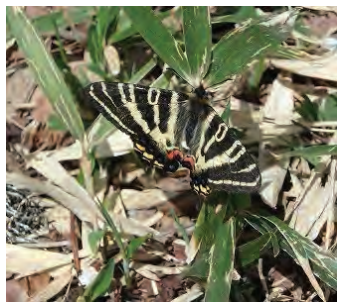
- 絶滅危惧種を含む多様な野生生物が生息・生育している生物多様性ホットスポットも、様々な危機にさらされています。
- 生物多様性を脅かす危機は、大きく以下の4つに区分されます。
- これらはどれも、人間の活動が大きな要因になっています。
- 当センターでは、ホットスポットを脅かす危機の解決に向けて、様々な調査研究を進めています。

第1の危機

- 大規模な開発による生息環境の破壊や、乱獲による個体数の減少など、人間による過剰な利用が原因となる危機です。



大規模な開発



ギフチョウ

第2の危機

- 人間と自然の関わり合いが縮小したことによる危機です。里地里山など人の手で維持されてきた環境の変化や、野生動物の増加による影響が懸念されています。



里山林



増加するニホンジカ

第3の危機

- 外来種など、人間によって生態系に持ち込まれたものによる危機です。



アライグマ



オオクチバス



ブルーギル

第4の危機

- 気候変動など、広域的な地球環境の変化による危機です。逃げ場のない山頂付近の植物の減少や、熱帯域の毒をもつ生物の分布拡大などが懸念されています。



和泉葛城山のブナ林



ヒョウモンダコ

保護上注目すべき野生生物

ケリ



- 分類：チドリ目 チドリ科
- 大きさ：約 35 cm
- 大阪府レッドリスト2014：準絶滅危惧
- 「キキッ」「キリッ」と大きな声で鳴き、その鳴き声が名前の由来とされている。
- 平地の水田、畑地、草地などでみられる。
- 大阪では平地の農耕地が減少しており、生息できる環境が少なくなっている。

ニホンイシガメ



- 分類：カメ目 イシガイ科
- 大きさ：約 20 cm
- 大阪府レッドリスト2014：準絶滅危惧
- 河川の中・上流域や、田んぼの水路など里山の水辺で見られる。
- 雑食性で、魚やカニ、巻貝、水草などを食べる。
- 開発などによる生息地の減少や、外来カメ類との競合などで個体数が減少している。

ニホンアカガエル



- 分類：無尾目 アカガエル科
- 大きさ：4～7 cm
- 大阪府レッドリスト2014：絶滅危惧II類
- 低地から丘陵地の水田で冬に産卵する。
- 体色は赤褐色で、眼から背中にかけてまっすぐのびた黄色い筋がある。
- 開発などによる水田の減少によって、個体数が減少している。

引用：大阪府レッドリスト2014

保護上注目すべき野生生物

イタセンパラ



- 分類：コイ目 コイ科（タナゴ亜科）
- 大きさ：約 8 cm
- 大阪府レッドリスト2014：絶滅危惧 I 類
- 国の天然記念物で、種の保存法選定種。
- 生きたイシガイ科二枚貝に産卵する。
- 大阪では淀川のワンドに生息する。河川改修や外来生物などの影響により激減し、野生復帰が行われている。

ハッチョウトンボ



- 分類：トンボ目 トンボ科
- 大きさ：約 2 cm
- 大阪府レッドリスト2014：絶滅危惧 I 類
- 日本で最も小さいトンボとして知られ、世界的にも最小のトンボのひとつ。
- 絶えず湧き水があり、日当たりがよく、背丈が低い植物が繁茂する開けた湿地で見られる。
- 大阪では安定した生息地が少なくなっている。

サギソウ



- 分類：ラン目 ラン科
- 大きさ：15~40 cm
- 大阪府レッドリスト2014：絶滅危惧II類
- シラサギが翼を広げたような形の花を咲かせることが名前の由来とされている。
- 日当たりのよい湿地で見られる。
- 開発などの生育地の減少や、乱獲などにより、大阪府内でも分布が限られている。

引用：大阪府レッドリスト2014